

# ひかりのくに

## かんが みんなで考えよう! しんがた 新型コロナウィルス かんせんしょう 感染症

しんがた かんせんしょう かくだい ともない ぶんあん へんけん  
新型コロナウィルス感染症の拡大に伴い、不安や偏見に  
より、ひほうちゆうしょう さいぶつてき しんけんしんがひ  
誹謗中傷やいじめ、差別的な対応といった人権侵害  
が起きています。

ねん ひがしにほんだいしんさい ふくしまだいいちげんぼつじ こ  
2011年の東日本大震災による福島第一原発事故では、  
ふくしま とうほく ひと げんぼつ ふうひょうひがひ  
福島などの東北の人たちが、「原発いじめ」や「風評被害」  
にさらされました。そして、こんかい しんがた びょうき  
にさらされました。そして、今回、新型コロナウィルスの病気  
にかかわる人たちが、ふとう ちゆうしょう さいぶつ う くる  
に関わる人たちが、不当な中傷や差別を受け苦しんでお

れます。しんがた かんせんしょう おそ わたし みち  
新型コロナウィルス感染症にかかることは恐ろしいです。しかし、私たちが未知のウィル  
スへのぶんあん びょうき にかかわる人たちをへんけん さいぶつ あんしんかん え  
不安から、病気に関わる人たちを偏見や排除、差別をして安心感を得る。こういう考え方にと  
らわれることがしんがた かんせんしょう も ほんとう こわ  
新型コロナウィルス感染症の持つ本当の怖さではないでしょうか。

じぶん かんせん だれ だんげん しんがた かんせんしょう びょうき  
自分が感染しないと誰も断言はできません。新型コロナウィルス感染症にかかったとき、この病気  
にかかわる多くの人たちが、かか おお ひと ちゆうしょう さいぶつ う あんしん す しゃかい  
に関わる多くの人たちが、「中傷や差別を受けるのではなく、安心して過ごすことができる社会」に  
していかなければならないと考えます。

がっこう しんがた たい だだ びょうき たすき ひと しえん かんしゃ  
学校では、新型コロナウィルス感染症に対する正しい理解と病気に携わる人たちへの支援と感謝の  
きもち も がつ がくしゅう つづ さいど がくしゅう おこな  
気持ちが持てるように、6月の学習に続けて、再度、差別と偏見をなくすことについて学習を行いました。

※ この文章は、福岡県の新型コロナウィルスに関するホームページ、大阪府内の中学校のホーム  
ページを参考にさせていただいております。



# がくしゅうご かんそう 学習後の感想



ねんせい ねんせい きょうざい つか がくしゅう おこな  
1年生と2年生は、「ヒーロー」という教材を使って、学習を行いました。

さべつをしない。もしさべつをしている  
ひとがいたら、だめっていう。

1年 児童

コロナウィルスになったと、きめつける  
ことを、気をつけるといいとおもいます。

2年 児童

ねんせい ねんせい しんがた かんせんしょう かん さべつじれい がくしゅう おこな  
3年生と4年生は、新型コロナウイルス感染症に関する差別事例をもとに学習を行いました。

「コロナウィルスになった人やねつが  
ある人にさべつしてはいけない。」ことは  
分かっていました。しかし、それよりも、  
もっと大事なことが分かって、とてもよ  
かったです。これからも、友だちを大切  
にしよう思います。

3年 児童

私は、「なぜ、さべつするのか。」分か  
らないです。コロナになったしまった人  
たちは、さべつのことを聞かされると、  
毎日こわいと思います。私は、さべつを  
せずに、しんぱいする言葉を使いたいと  
思います。

4年 児童

ねんせい がっきゅう しんがた かんせんしょう かん じさくきょうざい つか ねんせい さべつじれい  
5年生は、学級で新型コロナウイルス感染症に関する自作教材を使い、6年生は、差別事例を  
もとに学習を行いました。

コロナウィルスになりたくてなったわ  
けではないのに、差別するのはまちがっ  
ています。差別があることを知って、悲  
しかったです。差別のない世界にするた  
めに、一人ひとりを大切に、仲良くして  
いきたいです。

5年 児童

病院で働く人が、一番大変で、その大  
変さを知らないで、差別するのはおかし  
いと思いました。コロナウィルスにかか  
りたいわけではないのに、差別をうける  
のはかわいそうです。もし、自分だっ  
たら、たえきれないと思います。

6年 児童